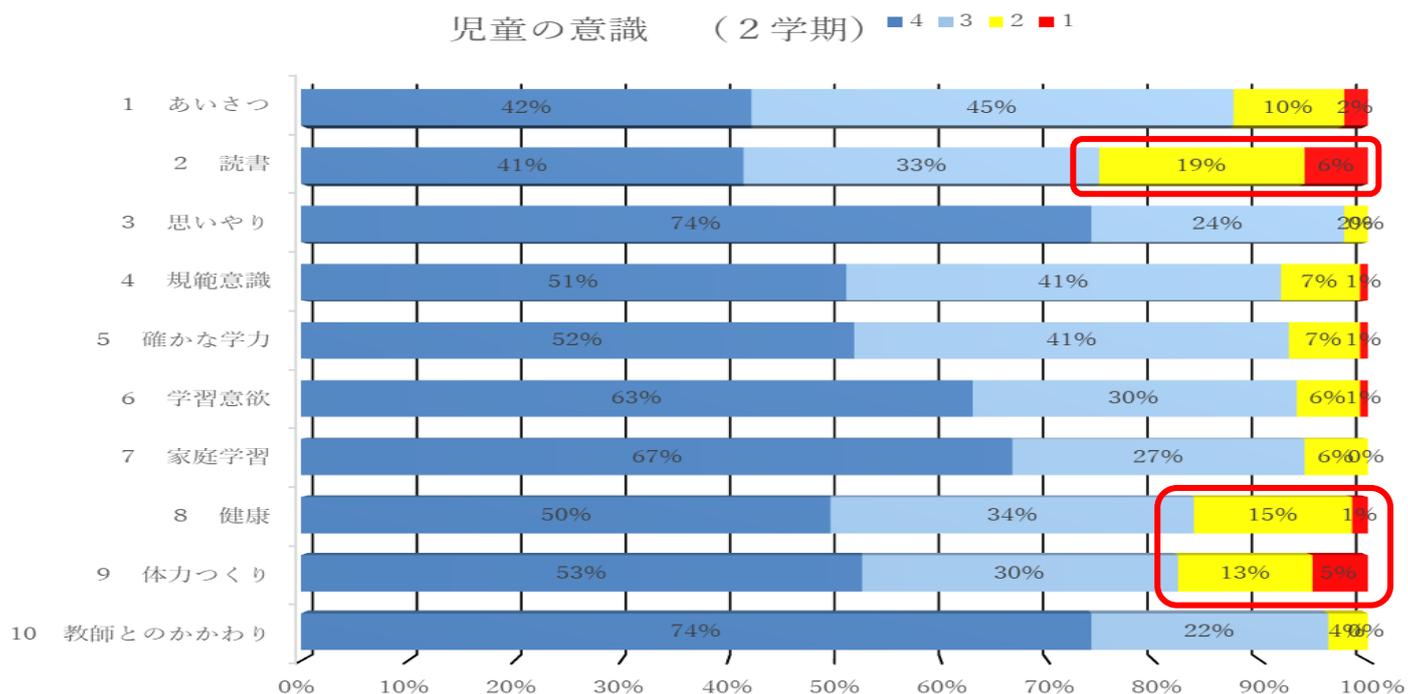


# 令和7年度 学校評価結果

1 学校評価（児童） 回答数：135 回答率：89%



読書離れと生活習慣の乱れ、運動不足がうかがえる。

## 肯定率比較

令和7年度(2学期末調査)	評価項目	令和7年度(1学期末調査)	変化
87.4%	1 あいさつ	80.7%	6.7%
74.8%	2 読書	66.4%	8.4%
97.8%	3 思いやり	96.6%	1.1%
91.9%	4 規範意識	92.4%	-0.6%
92.6%	5 確かな学力	89.9%	2.7%
93.3%	6 学習意欲	91.6%	1.7%
94.1%	7 家庭学習	90.8%	3.3%
83.7%	8 健康	76.1%	7.6%
82.2%	9 体力づくり	82.4%	-0.1%
96.3%	10 教師とのかかわり	94.1%	2.2%
<b>89.4%</b>	<b>平均</b>	<b>86.1%</b>	<b>3.3%</b>

規範意識のゆるみ、体力づくりへの消極的さが見られる。挨拶や読書、生活習慣は数値的には低いけど年度当初と比較して意識の改善が見られる。

## 2 学校評価（教師）

### 肯定率比較

教師から見た児童	項目	教師自身
100.0%	<b>1 豊かな心を育てる</b>	100.0%
100.0%	思いやり・道徳	100.0%
100.0%	人権・同和教育 特支教育	100.0%
100.0%	規範意識・自律性	100.0%
100.0%	ふるさとを愛する心	100.0%
84.4%	<b>2 自ら学ぶ・ともに学ぶ子</b>	95.0%
75.0%	確かな学力	100.0%
87.5%	問題解決学習とICTの推進	80.0%
100.0%	主体的対話的深い学び	100.0%
75.0%	学習習慣・読書習慣	100.0%
100.0%	<b>3 健康・安全教育の充実</b>	100.0%
100.0%	あいさつ	100.0%
100.0%	チャレンジの心・体力づくり	100.0%
100.0%	健康教育・生活習慣	100.0%
100.0%	地域と連携した安全教育	100.0%

学習・読書習慣が定着していない。学力は伸びる余地がある。

肯定率の比較	2学期末	1学期末	変化
重点目標	教師から見た児童		
<b>1 豊かな心を育てる</b>	100%	96%	4%
豊かな心	100%	100%	0%
人権・同和教育 特支教育	100%	100%	0%
生徒指導	100%	83%	17%
ふるさとを愛する心	100%	100%	0%
<b>2 自ら学ぶ子・ともに学ぶ子</b>	84%	63%	22%
確かな学力/基礎基本・学習習慣	75%	42%	33%
問題解決学習とICTの推進	88%	67%	21%
主体的対話的深い学び	100%	67%	33%
学習習慣・読書習慣	75%	75%	0%
<b>3 健康・安全教育の充実</b>	100%	92%	8%
あいさつ	100%	83%	17%
体力づくり	100%	92%	8%
健康教育・生活習慣	100%	92%	8%
安全教育	100%	100%	0%

肯定率の比較	2学期末	1学期末	変化
重点目標	教師自身		
<b>1 豊かな心を育てる</b>	100%	98%	2%
豊かな心	100%	100%	0%
人権・同和教育 特支教育	100%	92%	8%
生徒指導	100%	100%	0%
ふるさとを愛する心	100%	100%	0%
<b>2 自ら学ぶ子・ともに学ぶ子</b>	95%	55%	40%
確かな学力/基礎基本・学習習慣	100%	40%	60%
問題解決学習とICTの推進	80%	60%	20%
主体的対話的深い学び	100%	50%	50%
学習習慣・読書習慣	100%	70%	30%
<b>3 健康・安全教育の充実</b>	100%	96%	4%
あいさつ	100%	92%	8%
体力づくり	100%	92%	8%
健康教育・生活習慣	100%	100%	0%
安全教育	100%	100%	0%

数値的には改善が見られるが、引き続き教師も研鑽を怠らず指導に当たる。項目2では、学習・読書の習慣化に課題が残る。1学期から指導・啓発を進めてきたが、教師の手ごたえとしては小さい。習慣化は家庭の力も必要。学校から家庭へ波及させるにも限界がある。

3 学校評価（保護者） 回答数：96 回答率（児童数に対する）：63%

学校評価（保護者） 肯定率/年度別変化	R7	R6	R5	R4	昨年比
1 あいさつ	67.7%	81.1%	74.6%	80.0%	-13.4%
2 読書	50.0%	62.2%	55.9%	60.7%	-12.2%
3 思いやり	96.9%	97.8%	99.2%	93.6%	-0.9%
4 規範意識	91.7%	93.3%	89.0%	85.7%	-1.7%
5 確かな学力	86.5%	87.8%	85.0%	80.0%	-1.3%
6 学習意欲	80.2%	86.7%	83.3%	77.9%	-6.5%
7 家庭学習	95.8%	93.3%	91.3%	87.9%	2.5%
8 健康	77.1%	80.0%	71.7%	73.6%	-2.9%
9 体力づくり	65.6%	63.3%	65.4%	67.6%	2.3%
10 生徒指導	95.8%	93.3%	98.4%	94.2%	2.5%
11 地域・保護者対応	97.9%	97.8%	99.2%	95.7%	0.1%
12 特別支援教育	95.8%	95.6%	99.2%	93.5%	0.2%
13 情報提供	97.9%	100.0%	99.2%	97.1%	-2.1%
14 連携	96.9%	96.7%	100.0%	95.7%	0.2%
15 安全	99.0%	100.0%	100.0%	98.6%	-1.0%
16 環境	99.0%	98.9%	100.0%	97.1%	0.1%

《自由記述（保護者）》

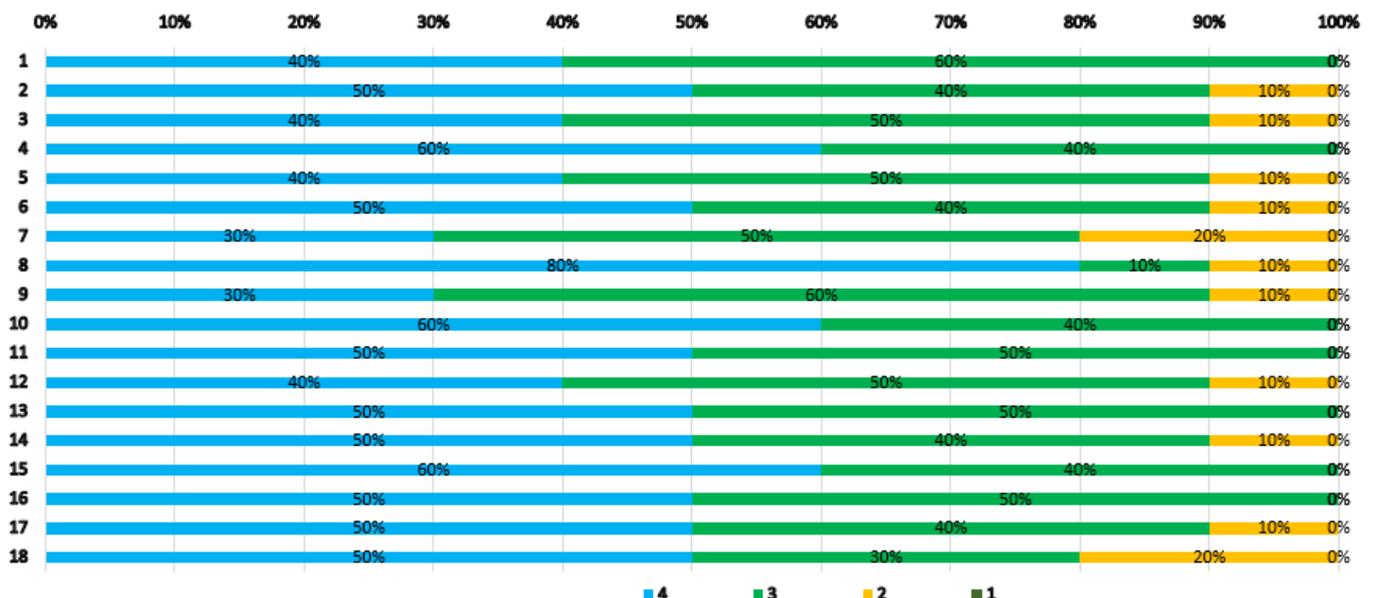
- 担任の先生はもちろん、保健の先生や支援の先生、校長先生や教頭先生など、先生方がみんないい方なので、本当にいいと思う。先生という職業は大変だと思いますが、これからも頑張ってもらいたい！
- 今年は年間行事予定がなかったので、少し不便だった。学期ごとの予定だけでももらえると、仕事をしている上では休みを取りやすい。
- 行事予定をもう少し早く教えてほしい。  
⇒ 年度初めに年間行事予定を配布する方向で検討する。
- 先生や学校が、保護者に協力してほしい事があれば伺いたい。  
⇒ 協力的に申し出ていただいて大変ありがたい。必要な場面があれば、力添えをお願いしたい。
- 下校後の公園への見回り等、いつもありがとうございます。安心して遊べている様だ。
- 基本的にお知らせは早く頂いているが、早く欲しい情報に限って遅い時がある。例えば、最近で言えば音楽会の服装も、ルール？があるなら、もう少し早く知りたい。兄弟のいる子は知っているかもしれないが、今年初めてだったので困った。  
⇒ 校内でPTA執行部を交えた服装検討委員会を年に1回実施し、検討・修正をしている。決まったことは、年度初めに各家庭に文書で周知をしている。行事等の時期が近づいてきたら、学年便り等で再度周知を図るようにしている。今後は、紙媒体やテトルなど周知の方法を工夫していきたい。

- 卒業まであと数ヶ月となったが、同級生、下級生たくさんの友達ができ楽しく学校生活をおくる事ができているようだ。
- テストを都度返却してほしいです。  
⇒ 早く返却するように努める。
- 毎日楽しそうに通う子どもの姿を見ると、先生方への感謝の気持ちでいっぱい。いつもありがとうございます。
- 先日、子どもの体調のことで相談した。その際、養護教諭に加え、担任の先生も迎えてくださり、熱心に話を聞いてくださった。経過が良好なことを一緒に喜んでくださった。この方々なら安心して子どもを託すことができると感じた。わが子はとても素直な子に育っている。今後ともよろしく願いいたします。
- 自転車利用について、1・2年生が保護者同伴なしで乗っている姿を見かける。安全面が心配。入学時や、年度初めに、保護者向けに改めて自転車利用のルールを周知していただけるとありがたい。また、公園が工事中のため、放課後に遊べる場所が限られている。学校内で遊べる時間や曜日があれば、分かりやすく教えてくださいと助かる。  
⇒ 交通安全等については町別児童会や「三津のよい子」等で繰り返し啓発をしていく。

#### 4 学校評価（地域）

評価領域	No.	評価指標	肯定率
教育課程 学習指導	1	学校は、松山の授業モデルをもとに、一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	100.0%
	2	学校は、教科等の指導においてアナログとデジタルのそれぞれのよさを適切に生かした授業改善に取り組んでいる。	90.0%
	3	学校は、児童生徒の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向けて、計画的に指導を行っている。	90.0%
	4	学校は、地域に根ざした教育を行い、郷土を大切に思う児童生徒の育成に努めている。	100.0%
人権・同和教育 生徒指導	5	学校は、人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	90.0%
	6	学校は、「学校の決まり」など生徒指導体制の見直しを行い、児童生徒の実態に応じた適切な指導を行っている。	90.0%
キャリア教育	7	学校は、将来に夢を持ち、自分の進路や生き方について考える児童生徒を育てている。	80.0%
安全管理	8	学校は、児童生徒に交通安全やけが等の防止について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	90.0%
保健管理	9	学校は、家庭と連携して個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童生徒の健康保持・増進に努めている。	90.0%
	10	学校は、換気や手指衛生などの基本的な感染症対策を行っている。	100.0%
特別支援教育	11	学校は、特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	100.0%
組織運営	12	学校は、管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	90.0%
研修	13	学校は、子どもたち一人一人が分かる授業づくりや様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	100.0%
保護者・地域との 連携 情報提供	14	学校は、教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	90.0%
	15	学校は、学校・学年だよりやホームページ、配信システム等により、積極的に情報を発信している。	100.0%
教育環境	16	学校は、言語活動の充実及び展示の工夫等の環境整備に努めている。	100.0%
幼保小中 連携	17	学校は、小1プロブレムや中1ギャップの解消につながるために関係園・校で連携し、児童生徒の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	90.0%
	18	学校は、関係園・校で連携して児童生徒への理解を促進するとともに、系統性を重視した学習指導を行っている。	80.0%

R7 学校評価（地域）



## 5 まとめ

保護者も地域も学校に対して肯定的かつ建設的な意見が多く、大変ありがたい。

子どもの読書離れや運動習慣の数値の低さは、教師だけでなく保護者や地域の方も認識している共通課題である。家庭や地域と連携して、啓発を図ったり親子でできる取組を紹介したりすることで向上を図りたい。学習については、1学期と比較すると、学習習慣以外の項目の数値は向上している。子どもの自己評価は高いが、教師や保護者の満足度は低い。学習内容だけでなく学び方の指導に注力し、学びの質・量ともに充実を図る必要がある。これは、今年度に限った事ではなく、三津浜小の課題である。学校と家庭とが連携して指導していくことで改善は図れると考えるが、各家庭の事情に大きく左右される部分が多く、今後も懸念は続くと思われる。

地域からは、子どもの進路指導や学校間の連携について懸念を示されている。高学年を中心に職業観や将来設計について指導したり、学校及び教員間で情報を共有したりしながら、綿密に指導に取り組んでいるが、様々な方法で学校の取組を知っていただけるように見える化を進めるなど、機会の充実を図っていきたい。

家庭や地域の支えを教育の中心に据え、教師一人一人が研鑽を積み、学校として地道に取組を継続していく必要があると考える。今後も、ご協力・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。